

令和3年度定時総会が 開催されました。



令和3年度当センター定時総会が5月31日(月)、中央市民センター(大津市中央2丁目)4階大会議室で開催されました。新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、昨年度と同様、地域委員長や職群班長等に出席を依頼し、また来賓のご出席もメッセージのみを頂く形の規模を縮小した形で開催しました。

令和2年度事業報告(案)や令和2年度決算報告(案)など提案4議案について全会一致で議決されました。また、令和3年度事業計画や令和3年度予算などの報告案件も了承されました。なお、理事に1名の欠員がありましたが、志賀地域委員会池田幸雄さんが新たな理事として選任されました。

総会資料は当センターホームページに掲載していますのでご覧ください。

理事長挨拶



平素は当センターの運営に格別のご理解・ご協力を賜り、誠にありがとうございます。新型コロナウイルスの感染拡大が続いておりますが、職域接種も実施されワクチン接種が今後、加速度的に実施・展開されると喜んでおります。1日も早く「通常の日常」を取り戻したいものです。

さて、新型コロナウイルスの影響から、令和2年度の業績はマイナス成長となりました。コロナショックと言われる経済停滞が心配されていますが、就業の拡大に最善の努力を行いたいと考えています。皆様のご理解とご協力をお願いします。

Make 2nd Life 入会説明会

今年もシルバー人材センターの広報と新規会員の入会促進を目的にランチ大津京で「Make 2nd Life入会説明会」を開催します。

日程:令和3年11月20日(土)・21日(日)
場所:ランチ大津京(大津市二本松1-1)



からだの衰え度 チェック

会員皆さんの健康な生活を応援するため、株式会社カーブスジャパンの協力を得て「からだの衰え度チェック」を開催します。健康づくりのひとつとして参加されてはいかがでしょうか。

日時:令和3年8月3日(火)・4日(水)

①10:00 ②10:40 ③11:20 ④13:00
⑤13:40 ⑥14:20 ⑦15:00 ⑧15:40
(各回5名定員)

場所:中央市民センター4階 大会議室

内容:血管年齢、脂肪燃焼力等による
「からだの衰え度チェック」

講師:株式会社カーブスジャパン
※参加者の性別は問いません

編集後記「元気高齢者」

機関誌「鳩の湖」や「会員ニュース」を発行するときは、必ず広報委員会による検討が入る。

今回の「鳩の湖」で議論となった字句は「元気高齢者」。

大津市シルバーは元気高齢者だけの応援団で良いのか。元気高齢者とそうでない高齢者を分けるのは如何なものか。企画段階でも気にしていた字句に遠慮なく意見が集中する。

「元気な子ども」と言えば、誰もが病気もせず、運動に、勉強に頑張っている子どもをほぼ一致して容易に想像できるが、はたして「元気な高齢者」とはいったいどのような高齢者なのか、広報委員それぞれの思いは異なる。「あなたは元気やなー。」「いえいえ月に一度の病院通い、腰は痛い、目はかすむやら。それがなにが元気なものですか。」このような会話が日常的になされる。元気高齢者のストライクゾーンは狭い。

ネットで調べると、元気高齢者とは、「ときどき医療ときどき介護を受けながら自分らしく生き、地域のために貢献する人」と解説しているコラムがあった。この定義だとシルバー会員はみんな「元気高齢者」だ。疾病をお持ちの高齢者であっても、自分らしく生き、地域のために貢献する人であれば、「元気高齢者」に該当することになる。元気高齢者を応援しよう。

シルバー人材センター

にお
うみ
鳩の湖



TAKE FREE MAGAZINE

公益社団法人
大津市シルバー人材センター

発行/2021年7月
発行・編集/大津市シルバー人材センター広報委員会
TEL:077-525-2528
〒520-0043 滋賀県大津市中央2丁目2-5 中央市民センター3F

2021年
7月発行

「針路SINRO ～来た道・行く道～」 撮影地:大津市真野浜沖 撮影:広報委員 牧野 良二

※コロナ禍2年目の夏を迎えます。これまでの自分の足跡を確かめながら、少しばかりの勇気を奮い起こして、もう一度一步前に踏み出したいものですね。

大津市の高齢化の現状

2025年問題(団塊の世代全員が後期高齢者の仲間入り)迫る!!

※要支援・要介護の認定を受けない高齢者数:
65歳以上人口-要介護認定者数

2025年には
大津市の人口割合は
75歳以上
65歳以上
=59%を超える!

2025年には
要介護認定者数が
2万人を超える!

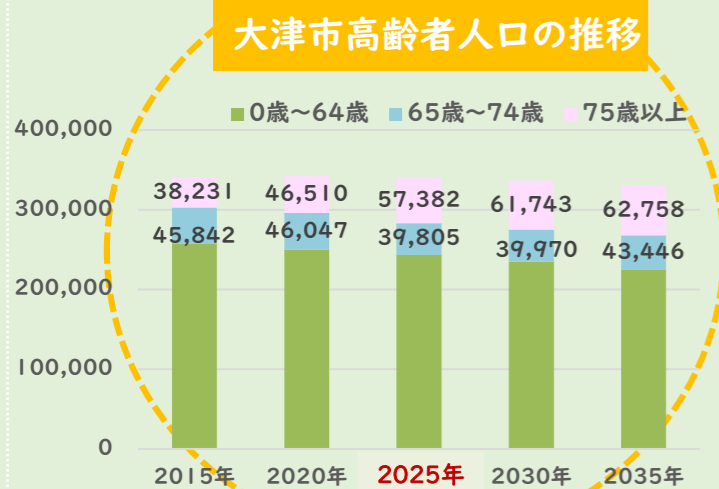
2025年
7万6千人を超える!

就業で
応援

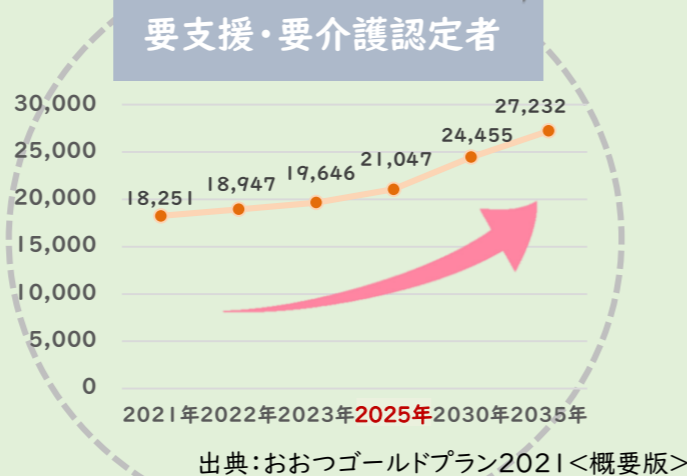
生きがいづくりで
応援

健康づくりで
応援

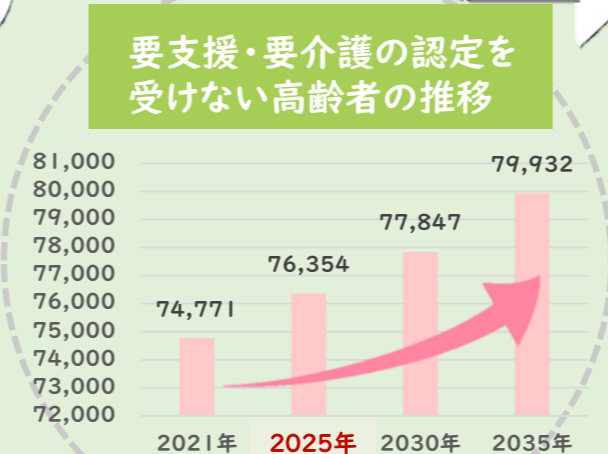
健康寿命を
どんどん伸ばすぞ!



出典: 国立社会保障・人口問題研究所
『日本の将来推計人口(平成30年3月推計)』



出典: おおつゴールドプラン2021<概要版>



出典: おおつゴールドプラン2021<概要版>

人生100年!!
元気高齢者の
活躍が地域課題
を解決する

元気高齢者に 応援団 をつくりましょう

大津市シルバー人材センターは「元気高齢者の応援団」

地域生活に貢献

就業で良かったこと、不安と感ずること
(令和2年8月実施ヘルパー会員アンケート調査結果より)

地域環境に貢献

ヘルパー会員数 193名
生活支援サービス希望会員数 257名

(令和3年6月30日現在)

昨年度実施したアンケート調査の結果では、訪問介護で良かった事例が621件報告されています。「心温まる言葉を頂いたこと」や「良好なコミュニケーションが図れたこと」。さらには「仲間ができたこと」などが全体の75%を占めました。一方、不安と感ずることも192件の報告がありました。良かったことや不安と感ずることは、毎月開催される報告会でサービス提供責任者と共有していきます。

訪問するたび元気を
もらっています。
会員E.Mさん

利用者様からの依頼は、
「早く・丁寧に・誠意を
持って」対応します。
会員H.Yさん

入会の翌日から不安と戸惑いの中
で始めた仕事が22年。ここまで
続けられたのは、利用者様が待っ
てくださるから。喜んでいただ
いているから。それが励みになり
ました。会員同士、事務局職員との
信頼と絆があったからこそです。
「シルバーの会員でよかった。」
会員Y.Kさん

会員の声

心も身体も
リフレッシュ
会員Y.Sさん

ふと目にした「ヘルパー養成講座」。あれから12年。たくさんの方との出会いがあり、必要として下さる方、待っていて下さる方がいるということが私の財産になりました。
会員N.Mさん

生活支援と子育て支援の仕事をして4年目。料理番組で勉強することもあります。「おいしかった。」「この間の料理をまた作ってほしい。」と言われると嬉しくなります。レポートも随分増えました。楽しいですし、やりがいを感じます。会員N.Wさん

私達も「元気高齢者」
を応援します!!



大津市社会福祉協議会
会長 竹内 俊彦 氏



大津市老人クラブ連合会
会長 松田 輝男 氏



訪問介護サービス利用者数(総合事業利用者含む)	216人
訪問介護サービス延べ就業者数	18,425人日
生活支援サービス利用者数	319人
生活支援サービス延べ就業者数	9,171人日

(令和2年度)

「元気高齢者」とは、「ときどき医療ときどき介護を受けながら自分らしく生き、地域のために貢献する高齢者」を指します。
(地域包括ケア時代の目的~元気高齢者の育成支援(榎本 真幸氏著) SMBC日興証券発行「医師のための健康情報157号」から引用)